

アンコンシャスバイアス勉強会 開催

12月12日(金)ジェンダー主流化委員会アンコンシャスバイアス勉強会を開催しました。

オンラインも含め45名の方にご参加いただき、花王株式会社への講演のあと、参加者によるグループワークで議論しました。DE&Iの担当者や人事部の担当者が集まり、業界を超えて話し合い、交流する貴重な機会となりました。



家事や育児をめぐる意識は変わりつつある一方、役割固定化は根強く残っている。身近な家事を切り口に無意識の思い込みに気づき、職場や生活での新たな一歩に繋げてほしい。

◀塩澤座長
(アサヒビール株式会社 会長)



家事は、人間がいきっていく上での力であり、学びの場である。家事に対する意識を変革し、会社の発展、よりよい社会の実現に向けたきっかけにしてほしい。

◀阿南会長



▲佐藤 嘉子 様
(花王株式会社 経営企画部門 コンシューマーインテリジェンス室)



▲多邊田 美香 様

講演内容：変わる家事意識、変わる暮らし

1. 家事を取り巻く変化
2. 変わる家事意識・変わる暮らし
3. 家事が変わるきっかけ



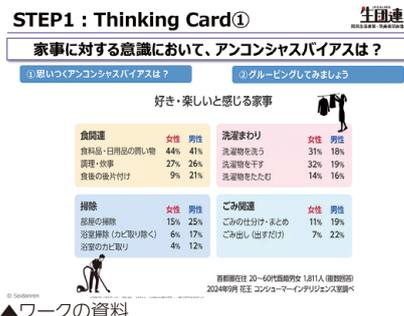
花王株式会社様による講演「変わる家事意識、変わる暮らし」では、自社で定点調査している生活者の意識実態を基に、家事の義務感の希薄化や家事への時短、軽減意識の増加など生活者の意識の変化を紹介していただきました。意識の変化が見受けられる一方、男女や世代による結果の違いも発見することができました。

グループワークでは、家事意識のデータを基に、アンコンシャスバイアスを書き出し、意見交換しました。

さらに、職場や自分自身の生活にどう活かすかを共有しました。



▲会場の様子



▲ワークの資料

【出席者からのご意見(一部抜粋)】

- 世の中の背景が、家庭での家事分担意識の変化に繋がってきていることが理解できた。
- 家庭での家事分担が進んでいること、若い世代が受けてきた教育について説明していただき、理解できた。
- 10年前とのデータ比較という定点調査が大変価値のあるデータだった。
- 花王様の取り組みは先進的で共感性が高く、興味があったため直接お話をききたい機会になった。
- 性別や世代だけでなく、業界によってもアンコンシャスバイアスの意見が違って気づきが多かった。